

学位論文について

1. 修士課程

(1) 2020年3月修了予定者の審査スケジュール

2020年3月修了予定者は以下の日程にて審査を受けてください。

種別	審査日程
修士論文予備登録	2019年10月15日(火)～10月31日(木)
修士論文提出	2019年12月2日(月)～2020年1月9日(木) 19:00 ※時間厳守
修士論文審査および最終試験(口述試験)	2020年1月21日(火)～2月1日(土)

※2019年9月修了予定者は「(8) 2019年度9月修了予定者の審査スケジュール」参照

(2) 修士論文予備登録

①受付日程

2019年10月15日(火)～10月31日(木)

②予備登録方法

Web上に申請フォームを用意しますので、必要項目を入力してください。詳細は大学院ホームページまたは情報システムよりご案内します。

③注意事項

- 2020年3月修了希望者は、必ず修士論文予備登録をしてください。期間内に予備登録をしないと、修士論文を提出できません。
- 日本文学専攻の「文芸創作・研究副論文」、公共政策学専攻・サステナビリティ学専攻の「政策研究論文」、および国際文化専攻(対象者のみ)・経済学専攻(対象者のみ)・法律学専攻(対象者のみ)・国際政治学専攻の「リサーチペーパー」を提出する方も、予備登録が必要です。
- 人文科学研究科については、前年度までに指導教員の担当する科目を含めて12単位以上修得していないと予備登録できません。
- 予備登録願提出後に論文題名を変更する場合は、論文提出時の提出書類に変更後の論文題名を記入してください。

(3) 修士論文提出

①受付日程

日付	受付時間
2019年12月2日(月)～12月24日(火)	窓口取扱時間内
2020年1月8日(水)	窓口取扱時間内
2020年1月9日(木) ※提出締切日	窓口取扱時間内(19:00まで※時間厳守)

いかなる理由があっても、締切日時以降の論文提出は認めません。事務窓口での提出準備作業は行わないでください。必ず事前に準備の上、完成した論文を指定部数揃えて時間内に提出してください。

②論文提出場所

大学院課窓口(大学院棟1階)

③提出書類

- 修士論文審査願(大学院ホームページよりダウンロードできます。捺印が必要です。)
- 論文要旨(部数は専攻毎に異なります。次項で確認してください。)
- 修士論文(部数は専攻毎に異なります。次項で確認してください。)
- 電子公開複写許諾書(国際文化専攻所属者のみ対象。捺印が必須です。)

④注意事項

- 論文題名は、修士論文審査願の提出をもって確定します。

(4) 提出書類の形式および部数

各専攻の提出物の形式および提出部数は以下のとおりです。

提出部数に不足がないよう十分注意してください。

- 論文要旨は専攻によって「論文の冒頭に要旨を綴じ込んで提出する部数（論文綴込）」と、「要旨のみ提出する部数（要旨のみ）」をそれぞれ準備する場合がありますので注意してください。
- ワープロを使用した場合の枚数は、400字詰原稿用紙の字数から算出します。以下の表中の「400字詰原稿用紙」とは、用紙の形式ではなく文字数を指定したものです。

①哲学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	2部（論文綴込） 9部（要旨のみ）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	2部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・縦書き横書きは自由

②日本文学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	2部（論文綴込） 14部（要旨のみ）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	2部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・縦書き横書きは自由
文芸創作・ 研究副論文	文芸創作	2部（要旨不要）	・400字詰原稿用紙50枚以上 ただし、文芸創作が詩歌などの場合は指導教員と相談すること ・縦書き横書きは自由
	研究副論文 要旨	2部（論文綴込） 14部（要旨のみ）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	研究副論文	2部	・400字詰原稿用紙30枚以上 ・縦書き横書きは自由

- 「文芸創作」をもって修士論文に代えることができます。その場合、「研究副論文」の提出を義務付けます。

③英文学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	3部（論文綴込）	・A4 2枚以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	3部	・字数（語数）制限なし ・用紙は特に指定しない（A4判）

- 大学院課窓口にて上記で提出する論文とは別に、専攻主任教員へEメールで論文を1部提出してください。Eメールアドレスは別途掲示します。提出期限は、論文提出期限と同様です。

④史学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込） 11部（要旨のみ）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・特に指導教員の指示がない限り400字詰原稿用紙100枚以上を原則とする ・ワープロ使用可、形式については指導教授の指示に従うこと

⑤地理学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	2部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること ・論文の英文タイトルをつけること
	論文	2部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・横書き co-op 地理学用 400字詰原稿用紙（手書きの場合） ・ワープロ使用可（40字×30行）

⑥心理学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込） 10部（要旨のみ）	・原稿サイズはA4判 ・法政心理ネットで公開されている所定のひな形をダウンロードして使うこと ・それぞれ氏名、所属、学生証番号、指導教員名、キーワードを明記すること ・レイアウトは二段組み、文字サイズは9ポイント ・余白は上下20mm、左30mm、右20mm ・所定書式で、図表や引用文献一覧などを含めて1ページに収めること
	論文	4部	・原稿サイズはA4判 ・法政心理ネットで公開されている所定のひな形をダウンロードして使うこと ・1ページあたりの字詰は40字×30行=1,200字、文字サイズは11ポイント ・余白は上下20mm、左30mm、右20mm ・所定書式で、中表紙、目次、資料は除いた本文（ただし図表は含む）と引用文献一覧が17ページ目の最終行まで埋めるか超えること（目次はつけてもつけなくてもよい）

⑦国際日本学インスティテュート

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	3部（論文綴込） 20部（要旨のみ）	・1,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること ・日本語要旨およびそれを英訳した英文要旨を両方作成すること ・日本語と英語の要旨を1部ずつあわせてホチキス止めること
	論文	3部	・400字詰原稿用紙50枚以上を基準とする ただし、研究領域による違いがあるので指導教員と相談すること ・縦書き横書きは自由

⑧国際文化専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・2,000字程度 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・図表などを含め、40,000字以上 ・縦書き横書きは自由
リサーチペーパー ※対象者のみ	要旨	4部（論文綴込）	・2,000字程度 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	リサーチペーパー	4部	・図表などを含め、30,000字以上 ・縦書き横書きは自由

- ・2015年度以降入学者に限り、「リサーチペーパー」をもって修士論文に代えることができます。
- ・最終的な修士論文の成績評価がA⁻以上で、かつ、指導教員および研究科長が公開を許可した論文は、その全文を法政大学学術機関リポジトリを通してインターネット上で公開します。論文を提出する方は全員、「電子公開複写許諾書」を提出してください。書式は予備登録手続者に配付します。

⑨経済学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	2部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	2部	・20,000字以上 ・縦書き横書きは自由
リサーチ ペーパー ※対象者のみ	リサーチ ペーパー	2部	・10,000字以上 ・縦書き横書きは自由

- ・ 修士課程1年次での修了を希望する者は、論文・要旨とも3部ずつ提出してください。

＜リサーチペーパーを提出する方へ＞

- ・ リサーチペーパーを提出できるのは、2016年度以降入学者（M.A.プログラム）で、指導教員の了解がある場合に限りです。なお、リサーチペーパーを選択した場合、修了所要単位は34単位になります。
- ・ リサーチペーパーの提出方法および最終試験（口述試験）は修士論文に準じます。合格の場合、成績評価はRR（認定）となります。
- ・ 修士論文予備登録時にリサーチペーパーまたは修士論文を選ばなければなりません。
- ・ 最終試験（口述試験）終了後、申し出により、リサーチペーパーに振り替えることができます。
- ・ リサーチペーパーは、博士後期課程出願に必要な修士論文ならびに研究論文とは認められません。

⑩法律学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	3部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	3部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・縦書き横書きは自由
リサーチ ペーパー ※対象者のみ	リサーチ ペーパー要旨	3部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	リサーチ ペーパー	3部	・20,000字程度 ・縦書き横書きは自由

- ・ 2017年度以降入学者に限り、「リサーチペーパー」をもって修士論文に代えることができます。

⑪政治学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	＜2014年度以前入学者＞ ・400字詰原稿用紙50枚以上 ・縦書き横書きは自由 ＜2015年度以降入学者＞ ・400字詰原稿用紙100枚以上 ・縦書き横書きは自由

⑫国際政治学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること ・英語の場合は10.5ポイントの文字、ダブルスペースA4 2枚以内で作成すること
	論文	4部	・＜和文＞70,000字程度（WORDのA4標準フォーマットで約50枚程度） ・＜英文＞20,000 words程度 ・縦書き横書きは自由 ・表紙に総字数（語数）を明記すること
リサーチペーパー	要旨	4部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること ・英語の場合は10.5ポイントの文字、ダブルスペースA4 2枚以内で作成すること
	リサーチペーパー	4部	・＜和文＞35,000字程度（WORDのA4標準フォーマットで約25枚程度） ・＜英文＞10,000 words程度 ・縦書き横書きは自由 ・表紙に総字数（語数）を明記すること

- ・「修士論文」と「リサーチペーパー」は、内容面ではなく、以下に示す「分量面における形式的条件」と、「学生本人が選択する提出区分」をもって区別します。
- ・学生は、上記分量上の条件を満たしていれば、自ら執筆する文書を、「修士論文」あるいは「リサーチペーパー」のいずれかとして提出することができます。（なお、上記の字数は、表紙、目次、本文、注釈、文献リストを含むものです。）
 - ・例えば和文で、70,000字程度の文章でも、学生が希望すれば、「リサーチペーパー」として提出することができます。

⑬社会学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	3部（論文綴込） 1部（要旨のみ）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	3部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・縦書き横書きは自由

⑭経営学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	5部（論文綴込）	・2,000字以内 ・それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	5部	・400字詰原稿用紙50枚以上 ・経営学専攻の履修案内の「論文執筆の手引き」参照のこと

- ・論文は専門研究者養成と同等の基準で評価する研究論文と、事業計画・事例研究など企業家・企業支援を専門とする者にふさわしい論文とがあり、企業家養成コースでは後者も選択できます。ただし、博士後期課程への進学を希望する者は前者を選択してください。研究論文で優秀な成績をおさめた者には、博士後期課程進学時の論文提出を免除することがあります。
- ・形式はA4判、ワープロ打ち（1行40文字、1頁36行を標準とし、用紙方向：縦入、印刷方向：横書き）とします。詳細は、経営学専攻の履修案内「修士論文執筆の手引き」を参照してください。

＜人材・組織マネジメントコースの方へ＞

大学院課に提出する論文のデータをPDF形式で修士論文提出日と同じ日にコース全教員へ送信してください。送信先メールアドレスは別途連絡します。

⑮ キャリアデザイン学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	5部（論文綴込）	・ A4 × 4枚（4,000字）を原則とする ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	5部	・ 400字詰原稿用紙50枚以上（図表なども含む） 例. A4判 40字×36行×14枚以上 ・ 縦書き横書きは自由、ワープロを使用すること

⑯ 公共政策学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・ 2,000字以内 ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・ 20,000字以上 ・ 縦書き横書きは自由
政策研究論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・ 2,000字以内 ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・ 20,000字以上 ・ 縦書き横書きは自由

⑰ サステナビリティ学専攻

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・ 2,000字以内 ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・ 20,000字以上 ・ 縦書き横書きは自由
政策研究論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・ 2,000字以内 ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・ 20,000字以上 ・ 縦書き横書きは自由

⑱ 連帯社会インスティテュート

種別	提出物	提出部数	字数・形式等の指示
修士論文	論文要旨	4部（論文綴込）	・ 2,000字以内 ・ それぞれ所属・氏名を明記すること
	論文	4部	・ 20,000字以上 ・ 縦書き横書きは自由

(5) 作成基準

以下のとおり指定された形式での製本を提出していただきますが、提出した論文は大学がハードカバーで製本し直した上で、法政大学図書館で永久保存します。

フラットファイルで提出する場合も、表紙以外はその体裁のまま製本されることを前提として体裁を美しく整えてください。

① 製本の形式

専攻	製本	仕上りサイズ
哲学・日本文学・英文学・心理学・国際日本学インスティテュート・国際文化・経済学・法学・社会学・経営学・キャリアデザイン学・公共政策学・サステナビリティ学・連帯社会インスティテュート	フラットファイル A4S	A4判
史学（国際日本学を除く）	フラットファイル A4E・S	
地理学（国際日本学を除く）・政治学・国際政治学	簡易製本	

- ・ フラットファイルでの製本を指定されている場合、市販のフラットファイル（紙製・2穴）に綴じるものとします。色は自由です。プラスチック製のファイルは使用しないでください。
- ・ 日本文学専攻の「文芸創作」と「研究副論文」は、それぞれ別のフラットファイルで製本してください。
- ・ 国際日本学インスティテュート所属者は、フラットファイル A4S で製本してください（史学専攻および地理学専攻国際日本学インスティテュートを含む）。

- 地理学・政治学・国際政治学専攻は簡易製本してください。製本の体裁は特に指定しませんが、いったん綴じた後は差し替えができない形で製本してください。下記いずれの方法でも構いませんが、市販のフラットファイル等に綴じたものは認められません。
 - ・ オフィスなどに備えられている簡易製本機による製本
 - ・ 文具店などで販売されている簡易製本キットによる製本
 - ・ 業者での簡易製本

②表紙と背表紙

- 表紙および背表紙の記載事項等は次図のとおりです。
- 簡易製本した場合、背表紙に文字が書けない場合は（冊子が薄い場合は）、表紙の記載のみで結構です。
- 年度を間違えないよう注意してください。2020年1月に論文を提出する場合は、2019年度になります。
- 表紙の文字は手書きでも印刷した文字を貼り付けてもどちらでも構いません。印刷した文字を貼り付ける場合は、剥がれないようにしてください（テプラなどシールタイプを推奨）。
- 部数および作成基準を満たしていないものは受理できません。ご注意ください。
- インスティテュート所属者は、専攻名に続けてインスティテュート名を記入してください。

〈表紙〉

横書き(A4-S)

○○○○年度 指導教員○○○○(准)教授 論文題名 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○研究科○○専攻修士課程 ○○コース 氏名○○○○

縦書き(A4-S)

○○○○年度 指導教員 ○○○○(准)教授 論文題名 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○研究科 ○○専攻修士課程 ○○コース 氏名 ○○○○

縦書き(A4-E)

○○○○年度 指導教員 ○○○○(准)教授 論文題名 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○研究科 ○○専攻修士課程 氏名 ○○○○

史学専攻(国際日本学を除く)
原則縦書き
(考古学・西洋史等の場合、
指導教員の許可があれば横書きも可)

〈背表紙〉

○○○○年度 ○○研究科 ○○専攻修士課程 氏名 ○○○○
--

〈表紙〉インスティテュート所属者

横書き(A4-S)

○○○○年度 指導教員○○○○(准)教授 論文題名 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○研究科○○専攻 ○○インスティテュート修士課程 氏名○○○○

縦書き(A4-S)

○○○○年度 指導教員 ○○○○(准)教授 論文題名 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○研究科 ○○専攻 ○○インスティテュート修士課程 氏名 ○○○○

〈背表紙〉インスティテュート所属者

○○○○年度 ○○研究科 ○○専攻 インスティテュート修士課程 氏名 ○○○○

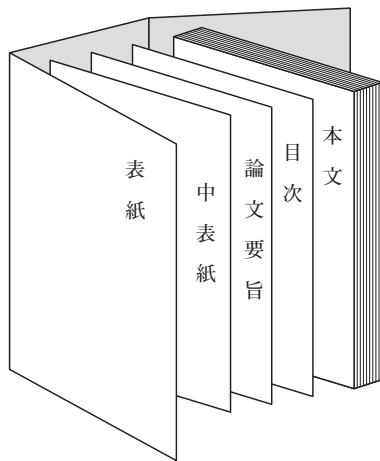
③論文要旨・論文等の綴じ込み

- 綴じ込みの順序は、原則として、「表紙」、「中表紙」、「論文要旨」、「目次」、「本文」の順番で綴じてください。専攻もしくは指導教員から異なる指示があった場合には、その指示に従ってください。
- 「中表紙」には、論文の種別（修士論文・文芸創作・リサーチペーパーなど）、指導教員、論文題名、所属、氏名を記入してください。
- 論文要旨は「表紙および中表紙」と「本文」の間に綴じてください。
- (対象専攻のみ) 論文提出部数を上回る部数の論文要旨を提出する場合には、提出論文に1部ずつ要

旨を綴じ込み、残りの要旨は論文と論文審査願とともにまとめて提出してください。要旨が一部につき複数枚になる場合は1部ずつホチキス止めしてください。

- 「論文」の印刷は片面印刷を原則とします。専攻もしくは指導教員から異なる指示があった場合は、その指示に従ってください。

〈綴じ込み順〉横書き



〈中表紙〉横書き

修士論文

指導教員 ○○○○(准)教授
論文題名
○○○○○○○○○○

○○○研究科
○○○専攻修士課程
○○○コース
氏名 ○○○○

※中表紙の1行目については、提出する論文種別(リサーチペーパー等)に合わせて作成のこと。

〈中表紙〉縦書き

文芸創作

指導教員 ○○○○(准)教授
論文題名
○○○○○○○○○○

○○○研究科
○○○専攻修士課程
氏名 ○○○○

〈中表紙〉インスティテュート所属者

修士論文

指導教員 ○○○○(准)教授
論文題名
○○○○○○○○○○

○○○研究科○○○専攻
○○○インスティテュート修士課程
氏名 ○○○○

〈論文要旨〉

論文要旨

所属
氏名

※専攻独自の指定がある場合はそれに従うこと。

(6) 修士論文審査および最終試験（口述試験）

修士論文審査および最終試験については、次の日程にて行います。受験にあたっては、修士論文のコピーを1部必ず持参してください。

①最終試験日

専攻	日程
哲学・日本文学・英文学・史学・地理学・心理学	1月21日(火)
国際日本学インスティテュート	1月22日(水)
キャリアデザイン学・公共政策学・サステイナビリティ学	1月25日(土)
政治学・国際政治学	1月27日(月)
国際文化・法律学・経営学(昼間)	1月30日(木)
経済学・社会学・経営学(夜間)・連帯社会インスティテュート	2月1日(土)

②最終試験時間・会場

- 上記最終試験日の5日前を目途に、各専攻掲示板に別途掲示します。
- 合わせて大学院ホームページにも掲載します。ホームページ閲覧用のパスワードは情報システムのお知らせで配信します。
大学院ホームページ > 授業・履修について > 市ヶ谷大学院 > 修士論文の提出 > 論文審査および口述試験
- 経済学専攻および社会学専攻の会場は市ヶ谷キャンパスを予定しています。

(7) 修士論文の公開および保存

2002年度以降に合格した修士論文および文芸創作・研究副論文で非公開と認められたもの以外については、法政大学図書館にて永久保存します。図書館にて閲覧が可能となります。

(8) 2019年9月修了予定者の審査スケジュール

2019年9月修了予定者は以下の日程にて審査を受けてください。

種別	審査日程
修士論文予備登録	2019年6月3日(月)～6月10日(月)
修士論文提出	2019年6月17日(月)～7月1日(月) 19:00 ※時間厳守
修士論文審査および最終試験(口述試験)	下記専攻以外 2019年7月20日(土) 社会学専攻 2019年7月16日(火) 国際文化専攻 2019年7月23日(火)

- 詳細については3月修了の内容を参照してください。
- 提出場所および、提出部数・作成基準は前掲の通りです。文芸創作・研究副論文、政策研究論文、リサーチペーパーについても同様の扱いになります。

(9) 経済学専攻「博士論文研究基礎力審査(QE)」

経済学専攻博士5年(Ph.D.)プログラム所属者は、修士論文の審査および最終試験に合格することに代えて、「博士論文研究基礎力審査(Qualifying Examination)」に合格することで、修士課程の修了要件を満たすことができます。また、審査合格者は、博士後期課程への学内進学が認められます。

「博士論文研究基礎力審査(QE)」は、「筆記試験」と「口述試験」からなります。

受験希望者は、以下の日程にて出願し、審査を受けてください。

①出願受付(修士1・2年生対象)

2019年10月15日(火)～10月31日(木)

「博士論文研究基礎力審査(QE)受験申請書」を大学院課窓口にて提出してください。

②研究計画書提出(修士2年生で、「口述試験」出願者のみ)

2019年12月2日(月)～2020年1月9日(木) 19:00

「研究計画書」を大学院課窓口にて提出してください。

③審査日程

種別	審査日程
筆記試験	2020年1月25日(土)
口述試験	2020年1月25日(土) ※ただし、口述試験は筆記試験に合格した修士2年生のみ受験可

④注意事項

- 「筆記試験」は、合計2科目まで受験可能です。2019年度に1科目合格した場合、次年度以降は1科目のみ受験可能です。

- 合格した筆記試験科目は、次年度以降、再度受験することができません。
- 「口述試験」は、「筆記試験（2科目）」に合格し、出願時に申請した「専攻分野」6科目12単位以上のGPA平均「2.7」以上、かつ、「研究計画書」を提出した修士2年生のみ受験可能です。
- 修士（M.A.）プログラム所属者は受験できません。
- 合格の発表日時および方法は、試験受験時にお知らせします。
- QEの詳細は、経済学専攻の履修案内を確認してください。

2. 博士後期課程

本学博士後期課程3年次に在学中で所定の科目を履修（単位修得）済または履修（単位修得）見込の者（以下「博士後期課程在学中の者」といいます。）、および本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の科目を履修（単位修得）した後、退学して3年以内の者（以下「退学後3年以内の者」といいます。）が博士の学位を申請する場合を、「課程による者の学位」として課程博士と呼び、上記以外の者が博士の学位を申請する場合を、「課程によらない者の学位」として論文博士と呼びます。

以下に学位申請に必要な提出書類、申請期限等の学位申請の概要をご案内しますが、詳細は「2019年度法政大学大学院博士学位申請ガイド」（5月更新）をご確認ください。博士学位申請ガイドおよび申請書式は大学院ホームページ https://www.hosei.ac.jp/gs/jyugyo/ichigaya/hakase_ronbun/index.html よりダウンロードできます。

（1）申請

正式な申請手続きを行う前に、必ず、指導教員または専攻専任教員と学位申請についての打合せを行ってください。専攻によっては、正式な申請手続きの前に予備審査を行う場合があります。

申請者は、以下の書類を大学院課窓口に提出します。提出書類をもって論文受理の可否を審議し、受理が決定した場合は審査へ移行します。

提出書類	課程博士	論文博士	備考
①博士論文審査願（課程博士）	1部	—	指定用紙【様式1】
①博士学位申請書（論文博士）	—	1部	指定用紙【様式1】
②博士論文目録	1部	1部	指定用紙【様式2】
③論文（製本したもの）	3部 (経済学専攻は4部、 公共政策学専攻は4部、 サステイナビリティ学専攻は4部、 国際文化専攻は6部、 経営学専攻は6部、 政治学専攻論文博士は4部)	3部	
④論文要旨（4,000字以内）	1部	1部	指定用紙【様式3】
⑤論文のデータファイル	1部（1枚）	1部（1枚）	CD-R データ形式指定
⑥履歴書	1部	1部	指定用紙【様式4】
⑦研究業績	1部	1部	指定用紙【様式5】
⑧副論文目録（必要に応じて）	1部	1部	指定用紙【様式6】
⑨副論文（必要に応じて）	3部 (経済学専攻は4部、 公共政策学専攻は4部、 サステイナビリティ学専攻は4部、 国際文化専攻は6部、 経営学専攻は6部、 政治学専攻論文博士は4部)	3部	
⑩電子公開複写許諾書	1部	1部	指定用紙【様式7】
⑪電子公開に関する報告書	1部	1部	指定用紙【様式8】
⑫住民票（論文博士のみ提出）	—	1部	
⑬最終学歴証明書（論文博士のみ提出）	—	1部	
⑭推薦書（経営学専攻論文博士のみ提出）	—	1部	指定用紙
⑮承諾書（経済学専攻のみ提出）	1部	1部	指定用紙
⑯博士論文提出承認届（国際文化専攻のみ提出）	1部	1部	指定用紙